



## 川島成道

NARIMICHI KAWABATA  
violin

1971年、東京生まれ。視覚障害を負った幼少期にヴァイオリンと出会い音楽の勉強を始める。桐朋学園大学卒業後、英国王室音楽院へ留学。1997年、同院を同院史上2人目となるスペシャル・アーティスト・ステイタスの称号を授与され首席卒業。1998年、東京・サントリーホールにおいて小林研一郎指揮、日本フィルハーモニー交響楽団との共演でデビュー。その後、英国と日本を拠点にソリストとして精力的な活動を展開し、毎年数多くのリサイタルと国内外の主要オーケストラと多数共演を行っている。2004年、英国にてマリア・ジョアン・ピリス、ハインリッヒ・シフ等と共にチャールズ皇太子主催のリサイタルシリーズに邦人アーティストとして唯一人招かれ、英国人ピアニストとのデュオで高い評価を得る。2005年、イタリア・ボローニャ歌劇場にて開催されたボローニャ歌劇場室内合奏団とのヴィヴァルディ「四季」の演奏は、満員の観衆が総立ちとなる喝采を受ける。2006年は、ユベール・スダーン指揮ザルツブルク・モーツァルテウム管弦楽団の日本ツアーのソリストに起用された他、米国、中国等でリサイタルツアーを開催。2007年、スロヴェニア国立マリポール歌劇場管弦楽団との共演でヴォルフ＝フェラーリ作曲「ヴァイオリン協奏曲二長調」を日本初演、また同楽団のスロヴェニア公演でもソリストを務める。2011年には、欧州最高のオーケストラのひとつであるウクライナ国立フィルハーモニー交響楽団の日本ツアーのソリストとして成功を収め、2013年、2019年にも再び共演するなど、着実な歩みを進めている。

CDは、1999年リリースのファーストアルバム「歌の翼に」、セカンドアルバム「アヴェ・マリア」(ビクターエンタテインメント)が20万枚の記録の大ヒットとなり各地で売り切れ公演が続出、大きな話題を集めて以来、2018年のデビュー20周年記念アルバム「J.S.BACH 無伴奏ヴァイオリンのためのソナタとパルティータBWV1001-1006」まで15枚をリリースしている。尚、デビュー10周年記念CD「ザ・ベスト」と11枚目のCD「川島成道 | クライスラーを弾く」、13枚目の「無伴奏の世界 | 川島成道」は、レコード芸術誌で特選盤に選ばれている。

「徹子の部屋」、「スタジオパークからこんにちは」などのテレビ番組にも出演。エフエム世田谷「川島成道のレディオ・ストリングス」では5年間パーソナリティーを務めた。弦楽器専門誌「サラサーテ」における連載は2007年より継続、好評を得ている。

デビュー当初より音楽活動の傍ら、積極的に国内外でチャリティコンサートを行う。

中学音楽鑑賞教材や高校英語・現代文教科書、高校入試問題やNHKラジオ高校講座「現代文」に映像や文章が使用される等、社会派アーティストとしても多方面に影響を与えている。

文部科学省スペシャルサポート大使。日本弦楽指導者協会関東支部所属。

[川島成道オフィシャルサイト <http://www.kawabatanarimichi.jp>]



Photo:渡辺力

## 寺嶋陸也

RIKUYA TERASHIMA  
piano

1964年生まれ。東京藝術大学音楽学部作曲科卒、同大学院修了。オペラシアターこんにゃく座での活動や、97年東京都現代美術館でのポンピドー・コレクション展開催記念サティ連続コンサート「伝統の変装」、03年パリ日本文化会館における作品個展「東洋・西洋の音楽の交流」などは高く評価され、06年にはタングルウッド音楽祭に招かれポストン交響楽団のメンバーと自作を含む室内楽を演奏した。作曲、ピアノ演奏のほか、東京室内歌劇場やびわ湖ホールでのオペラ公演の指揮など、活動は多方面にわたる。オペラ『あん』『グスコブドリの伝記』『ヒトマル』『ガリレイの生涯』『未摘花』、合唱オペラ『そして旅に出た』、合唱劇『星の王子さま』、『尺八・二十絃等と管弦楽のための協奏曲』、合唱のための『詩篇第49番』『沖繩のスケッチ』、オーボエ・三味線と打楽器のための『異郷の景色』、古代復元楽器のための『大陸・半島・島』など作品多数。「大陸・半島・島/寺嶋陸也作品集」(ALCD9026)、「二月から十一月への愛のうた(栗山文昭の芸術2/寺嶋陸也作品集)」(VICS61092)「寺嶋陸也plays林光」(NARD5034)「寺嶋陸也ピアノリサイタル〜シューベルト3大ソナタを弾く〜」(NARC2129~30)など、多くのCDがある。

お茶の水女子大学文教育学部非常勤講師。

[寺嶋陸也ホームページ <http://www.gregorio.jp//terashima/>]

### —ブレ・ミニコンサート—



林陽菜  
HINA HAYASHI  
piano

2001年生まれ22歳。両親と離れて育ち5歳の時に里親と出会い、6歳からピアノを習い始める。

香川県立坂出高等学校音楽科を卒業。2016、17、18年、JPTAピアノオーディションにて全国大会出場。2021年夏第5回高松国際ピアノコンクールプレイベント3台ピアノ部門出場。現在、沖縄県立芸術大学音楽学部在学中。

里親家庭や児童養護施設で暮らす中高生を応援する活動に取り組む。

## Discography

Narimichi Kawabata



お求めはこちらから



1st Album  
『歌の翼に』  
VICC-60142  
¥2,900+税



2nd Album  
『アヴェ・マリア』  
VICC-60219  
¥2,900+税



3rd Album  
『愛の悲しみ』  
VICC-60270  
¥2,900+税



4th Album  
『哀愁のトリステ』  
VICC-60329  
¥2,900+税



5th Album  
『トロイメライ』  
VICC-60346  
¥2,900+税



6th Album  
『シャコンヌ』  
VICC-60386  
¥2,900+税



7th Album  
『川島成道の四季』  
VICC-60464  
¥2,900+税



8th Album  
『美しき夕暮れ』  
VICC-60566  
¥2,900+税



9th Album  
『ザ・ベスト』  
VICC-60664  
¥2,900+税



10th Album  
『メンデルスゾーン & ヴォルフ＝フェラーリ  
ヴァイオリン協奏曲』  
VICC-60737 ¥3,000+税



11th Album  
『川島成道  
クライスラーを弾く』  
VICC-60797  
¥3,000+税



12th Album  
『ムーンリヴァー  
川島成道 映画音楽を弾く』  
VICC-60874  
¥3,000+税



13th Album  
『無伴奏の世界』  
VICC-60932  
¥3,000+税



14th Album  
『マイ・フェイヴァリッツ』  
VICC-60946  
¥2,315+税



15th Album  
『J.S. バッハ: 無伴奏ヴァイオリンソナタ全曲収録』  
VICC-60951-2  
¥5,000+税 (2枚組)

### 朝日新聞厚生文化事業団の取り組みへのご寄付のお願い

朝日新聞厚生文化事業団では、児童養護施設や里親家庭で暮らした大学生などへの給付型奨学金事業を行っています。奨学生の皆さんから後輩へのアドバイスや体験談を届ける冊子やYouTube番組、中高生のためのオンラインフェスなどは、多方面でご注目をいただいています。また、居場所を失い、自立援助ホーム、子どもシェルターで暮らす子どもたちのサポートにも取り組んでいます。こうした、子どもたちの「学びたい」を皆さまにご支援いただけますよう、お願いいたします。



新型コロナウイルス感染症対策と  
お客様へのお願いは、  
こちらよりご確認ください。



<https://tempoprime.co.jp/stage/kawabata-cp2024>

館内ではマスクをご着用ください。  
咳や発熱など体調に不安のある方は  
ご来場をお控えください。

## 浜離宮朝日ホール

住所  
〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2  
朝日新聞東京本社・新館2階  
TEL: 03-5541-8710

交通のご案内  
「築地市場駅」都営大江戸線(A2出口)すぐ、  
エレベーターはA3出口

「東銀座駅」東京メトロ日比谷線/  
都営浅草線(6番出口)より徒歩約8分  
「新橋駅」JR(汐留口)/  
東京メトロ銀座線(1、2番出口)/  
都営浅草線(改札口)より徒歩約15分

